



令和4年度 果樹情報 第17号

(令和4年12月6日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (果樹研究所)

11月の平均気温は10.5℃で、平年より1.6℃高く経過しました。

この期間の降水量は55.0mmで平年比78%と平年並で、日照時間は151.5時間で平年比106%と平年並でした。

2 花芽分化率 (果樹研究所)

(1) りんご

りんごの花芽分化率(11月30日採取)は、「つがる」が89.2%、「ふじ」が73.2%でした(表1)。また、両品種とも一部の頂芽に褐変が見られました。

表1 りんごの花芽分化率

品 種	調 査 年											平年値
	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	
つがる	89.2	85.8	78.1	85.6	91.3	88.7	73.9	96.3	73.2	77.8	73.9	81.2
ふじ	73.2	60.4	59.6	66.3	64.5	66.5	63.3	64.2	62.9	63.5	75.7	68.3

注1) 平年値は、2001～2020年の平均

注2) 調査樹は、「つがる」/M.26台 3樹、「ふじ」/マルバカイドウ台 2樹

注3) 単位は%

(2) なし

なしの花芽分化率(11月28日採取)は、「幸水」が68.2%、「豊水」が71.7%でした(表2)。

表2 なしの花芽分化率

品 種	調 査 年								平年値
	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	
幸水	68.2	81.6	66.4	75.5	78.0	55.8	56.5	58.3	58.0
豊水	71.7	83.1	56.9	70.0	76.8	64.8	65.5	68.3	69.1

注1) 平年値は、2001～2020年の平均

注2) 調査樹は、「幸水」55年生 5樹、「豊水」45年生 6樹

注3) 単位は%

3 りんご「ふじ」の収穫期と果実品質 (果樹研究所)

「ふじ」の収穫盛日は11月17日で平年並、満開後日数は206日で平年より5日長くなりました(表3)。収穫期における果実品質は、果実重が414gで平年よりも大きく、糖度が15.7° Brixで平年並でした。また、蜜入り指数は2.0でした。

果皮中クロロフィル含量は平年よりやや低く推移し、果皮中アントシアニン含量は平年より低く推移しました(図3、4)。また、果実硬度は、満開後140日頃以降は平年よりも低く推移し、収穫期は11.9ポンドとなりました(図1)。

表3 「ふじ」の収穫期と果実品質

	収穫始 (月/日)	収穫盛 (月/日)	収穫終 (月/日)	満開後 日数(日)	果実重 (g)	糖度 (° Brix)	リンゴ酸 (%)	硬度 (lbs)	外部裂果 (%)
本年	11/14	11/17	11/28	206	414	15.7	0.47	11.9	6.7
(平年差)	平年並	平年並	3日遅	5日長	—	—	—	—	—
昨年	11/4	11/15	11/24	210	346	15.4	0.42	11.0	10.0
平年	11/14	11/17	11/25	201	358	15.5	0.38	13.0	15.3

注1) 調査樹は、「ふじ」/マルバカイドウ台(20年生)3樹

注2) 平年値は、収穫期が1976~2020年の平均値、果実品質が1980~2020年の平均値

注3) 果実品質調査日は、11月21日(満開後210日)

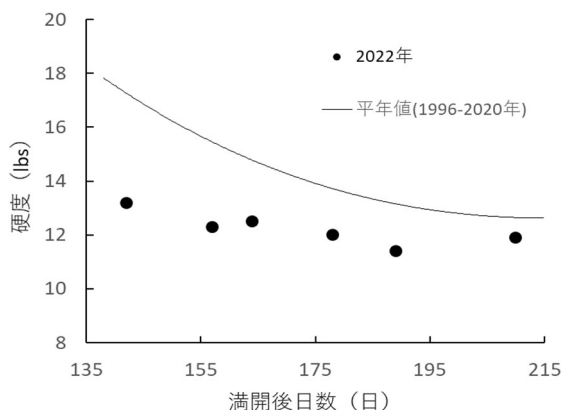


図1 「ふじ」の果実硬度の推移

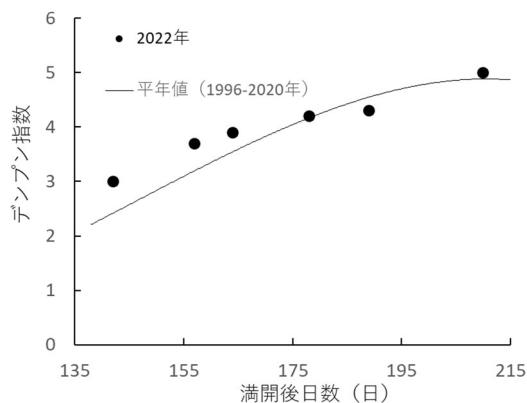


図2 「ふじ」のデンプン指数の推移

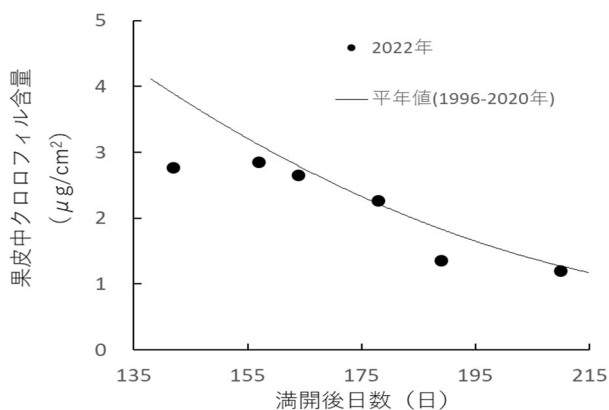


図3 「ふじ」の果皮中クロロフィル含量の推移

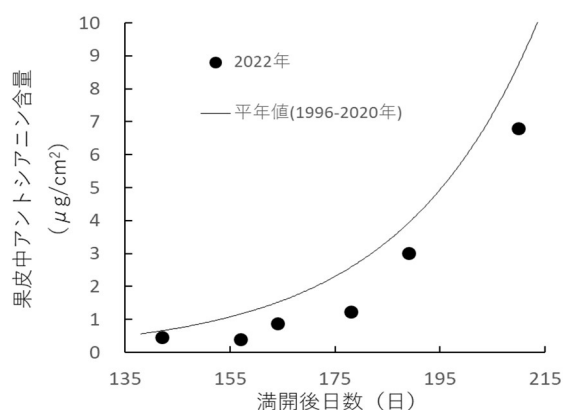


図4 「ふじ」の果皮中アントシアニン含量の推移

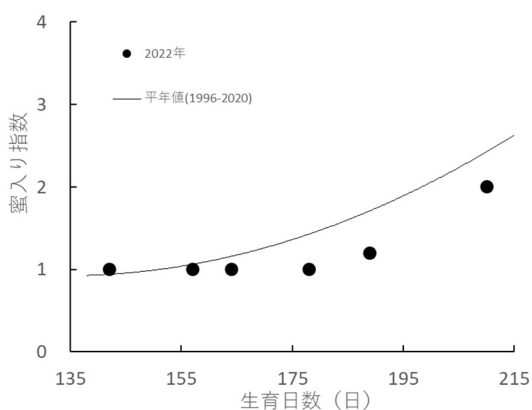


図5 「ふじ」の蜜入り指数の推移

発行: 福島県農林水産部農業振興課
 農業革新担当 TEL 024(521)7344
 (以下のURLより他の農業技術情報等
 をご覧いただけます。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>